

平成29年度 同窓会総会、懇親会報告

平成29年度小松工業高校同窓会総会が7月22日（土）にホテルサンルート小松（日の出町）で開催されました。

総会には80人を超える参加者があり、続けて「会員である岡崎電気工学博士による講演会」そして「懇親会」と例年にも増して賑やかな歓談の一時を過ごしました。

総会は宮川会長、林校長先生、中家PTA会長の挨拶、祝辞に続けて議案の審議が行われ各案件が満場一致で承認されました。

宮川会長から母校の発展のために、さらなる援助をしていくこと、2019年には創立80周年を迎えるにあたり記念事業の準備活動を力強く推進する旨の決意表明がありました。また80周年記念事業を成功させるために会員ひとり一人の協力が欠かせないと協力要請がありました。

林校長先生からは、今季インターハイには多数の選手が参加することができ、県内で3本の指に数えられる成績であること、ものづくりコンテストでも多数、優勝することができたことなど、生徒たちの文武両道の活躍状況について報告がありました。

中家PTA会長からは自身が母校の卒業生として母校の発展のために力になりたいと考えていること、そのためには同窓会、学校、PTAがさらに連携を深めていく必要があり、尽力したいとの意欲と共に同窓会総会への祝辞が述べられました。



宮川会長

林校長先生

中家PTA会長

★議事

- ・議長 田中策次郎 参与

- (イ) 平成28年度事業報告および決算報告
- (ロ) 会計監査報告
- (ハ) 平成29年度本部役員および常任理事の選出（案）
- (ニ) 平成28年度事業計画（案）および予算（案）
- (ホ) 創立80周年記念事業について
- (ヘ) その他



田中議長

★創立80周年記念事業・村先実行委員長の決意表明

- ・村先憲之さんの略歴：昭和41年3月 電気科卒業、
平成21年度～平成24年度 同窓会会長、
平成25年度～ 同窓会顧問、

周年事業の実行委員長は前会長が担当するとの慣例だからという理由で宮川会長から委員長を要請された。微力ながら期待に応えるために引き受けることにした。事業の成功には会員皆様の協力が不可欠であり、今から直ちに行動していただきたい。卒業生と顔を合わせたときには「80周年記念事業のために頼むぞ。」の声掛けを実行していただきたい。と決意表明がありました。



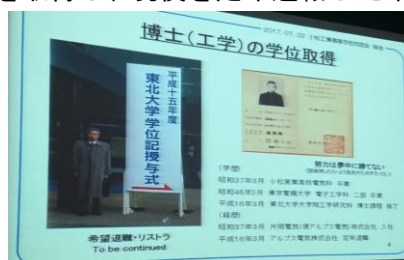
村先実行委員長

★岡崎電気工学博士による講演会・・・演題：「みんなちがって、みんないい！」

- ・岡崎三也さんの略歴：昭和37年3月 電気科卒業
昭和37年3月 片岡電気（現アルプス電気）株式会社 入社
昭和45年3月 東京電機大学 電子工学科 2部 卒業
平成16年3月 東北大学大学院工学研究科 博士課程 修了
平成16年3月 アルプス電気株式会社 定年退職

電気に興味を持った少年時代にハムの免許を取得し、現役を定年退職した年に博士号を取得するという珍しい人生についてお話しされた。

「キルヒホッフの法則」「電力加算と電圧加算」など難しい言葉の連続でした。とても僅かな電波のように目には見えないものが現実に存在することを、人間がわかるようにしていく研究をされてきました。そして相馬市に住んでいて東日本大震災に合われたときに、金子みすゞの詩に出会われて、次の詩で講演を締めくくられました。



わたしと小鳥と鈴と (金子みすゞ)

「わたしが両手をひろげても、お空はちっとも飛べないが、飛べる小鳥はわたしのように、地面（じべた）をはやくは走れない。

わたしがからだをゆすっても、きれいな音は出ないけど、あの鳴る鈴はわたしのように、たくさんうたは知らないよ。

鈴と、小鳥と、それからわたし、みんなちがって、みんないい。」

◆懇親会

